



※ジュサラ椰子AFモデル圃場（左：ジュサラ椰子 右：パウ・ブラジル）

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-3-3
CMビル ㈱日本ビジネスソリューション内

☎ 03-3270-0020

📠 なし

🔍 <http://www.versta.org/>

👤 森田隆夫・小野瀬由一

活動名

ジュサラ椰子 (*Euterpe edulis*) を主作目としたアグロフォレストリーの小農普及によるブラジル大西洋沿岸林保全促進事業

助成活動紹介

私たちVERSTAのビジョンは、アグロフォレストリー（AF）普及活動を支援し、CO2の吸収源である熱帯雨の再生・保全を図ることにより持続可能な地球環境保全に貢献することです。VERSTAの支援地は、既に93%が伐採されたブラジル国大西洋沿岸林であり、その森林地帯に住む小農家に対し、在来種のジュサラ椰子を主樹としたAF普及促進を図ることにより小農家経営の持続化を支援しています。

※ジュサラ椰子とパウ・ブラジル苗木は、**Rio Olympic** 入場式で各国選手団を先導した少年少女が手にしていました。

3年間の成果

ブラジル国サンパウロ州大西洋沿岸林内のセテバラス市内リオブレット集落及びハッポーザ集落における、VERSTA支援活動によるジュサラ椰子AFモデル圃場は合計12農家4haとなっています。VERSTAによる3年間の支援活動によりジュサラ椰子AFモデル圃場での栽培技術交流が図られ、本年度末には活動成果としてジュサラ椰子AF栽培技術マニュアルが完成する予定です。

団体から一言

担当者：小野瀬由一

VERSTAの支援地であるブラジル国大西洋沿岸林は、開発により93%が既に伐採されています。しかし、環境サミットの発祥国であるブラジルは、アマゾン80%、他の熱帯雨林地帯は30%まで再生・保全すると国際宣言

しています。VERSTAは日系ブラジル人・日本企業・日本人有志等の連携により、ブラジル国大西洋沿岸林の再生・保全に取り組んでいます。



連携・提携先

CP代表：山添源二（元SP州森林院総裁）

CPチーム：SP州農務局森林院（FF）・森林財団（IF）・大西洋沿岸林生物圏（RBMA）、サン・カルロス連邦大学、カンピーナス州立大学、国立東京農工大学、セテバラス市、レジストロ市、TV-BANDほか

情報求む！

米国化学雑誌Food Chemistry 121 (2010) 996-1002によると、ジュサラ椰子果実はブラジル果実18種の中で、アンチエイジング成分のアントシアニンとフラボノイドが最も高いと評価されており、健康食品会社や大学・研究所の参加を求めています。